

令和 6 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

2024 年 5 月 24 日

学 長 殿

所属 部 局 ・ 職 名
(所属・学年) 人間発達文化学類

申 請 者 名
(学会参加助成の場合は参加者名)

竹田隆一

助成の区分 (該当するものに○)	学会 参加 助 成
事 業 名	2024.International Conference of Sport,Leisure and Hosptality Management
成 果 の 概 要	5 月 1 8 ・ 1 9 日に台湾台北市にある台湾師範大学において開催された『2024.International Conference of Sport,Leisure and Hosptality Management』に参加した。 海外（アメリカ、シンガポール、タイ、韓国、台湾、日本）からの演者による講演とそれに並行して口頭発表、ポスター発表が行われた。 「スポーツ運動学による近世武芸伝書の検討 ―『不動智神妙録』の「無心」について―」というテーマで発表を行った。近世の武芸伝書の研究においては、流派の発生や歴史について論ずるものが多く、技術に視点をあて追究するものは存在するが、技術史が中心になっている。今回、現象学的立場から論じられた「スポーツ運動学」の視点から、近世の名著『不動智神妙録』に示された「無心」について考察した。結論としては、「無心」とは、何も考えていないことではなく、次に来る運動の先取りをし、意識は次に来る運動に向けられているものであることを論究した。その結果、このような武芸伝書に示された技術を現象学的運動学によって分析・検討することは今後必要なことであるとの評価を得た。 二日間にわたって開催された学会であったが、幅広い領域での研究学会であったが、様々な国の演者によって、各国のスポーツ事情や多様な視点からのスポーツ活動の捉え方が理解できた。